

検出器流量を測定する

FID、TCD、 μ ECD、および FPD 流量の測定

警告

水素 (H_2) は可燃性で、閉じた空間 (流量計など) で空気と混ざると爆発する危険があります。必要に応じて不活性ガスで流量計をパージします。ガスは必ず別々に測定します。フレイム / ビードの自動点火を防ぐために検出器は必ずオフにします。

1 以下を準備してください。

- 適切な流量計アダプタチューブ (GC 出荷キットに同梱)
- 当該のガスと流量に合わせて較正された電子式流量計

注意

カラムが破損しないように、オーブンの温度を下げてからカラムフローをオフにします。

2 オーブンの温度を室温 (35 °C) に設定します。

3 カラムのフローと圧力をオフにします。

4 FID フレイム、FPD フレイム、および TCD フィラメントをオフにします (該当する場合)。

5 検出器を冷却します。

6 適切なアダプタを検出器の排気口に取り付けます。

ゴム製アダプタチューブは μ ECD または TCD 排気ベントに直接取り付けます。



FID には別のアダプタが用意されています。検出器の排気ベントにアダプタをできるだけ深く差し込みます。アダプタ O-リングを検出器排気ベントに押し込むと、抵抗を感じます。挿入時にはアダプタをねじ込んで、きちんとシールされるようにします。



FPD では、ベントチューブアセンブリを取り外し、検出器排出口と流量計チューブの間に 1/4 インチチューブアダプタを使用します。

8 トラブルシューティング作業



7 流量計アダプタに流量計を取り付けて、流量を測定します。

NPD 流量の測定

1 以下を準備してください。

- NPD 流量計アダプタツール (G1534-60640)



- 流量測定インサート (19301-60660)
- 当該のガスと流量に合わせて較正された電子式流量計

- 2 ビード電圧を 0.0 V に設定します。
- 3 NPD を 100 °C まで冷却します。
- 4 ビードを取り外し、もう一度取り付けるまで注意して保管します。
- 5 NPD 流量計アダプタツールを NPD コレクタに差し込みます。
- 6 流量測定インサートを NPD 流量計アダプタツールに取り付けます。



- 7 流量計チューブを流量測定インサートの上に配置し、流量測定を開始します。